

令和8（2026）年度

学習院大学法務研究科（法科大学院）

入学試験要項

－ 目 次 －

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） | 1 |
| 2. 募集人員 | 1 |
| 3. 入学試験日程 | 1 |
| 4. 出願資格 | 2 |
| 5. 出願手続 | 3 |
| 6. 出願書類 | 4 |
| 7. 受験 | 5 |
| 8. 合格発表 | 8 |
| 9. その他 | 8 |

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について、法律及び「学習院個人情報保護規程」に基づき慎重に取り扱っております。

資料、願書請求時にお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、「入学試験の実施」、「合格発表」、「入学手続」及びこれらに付随する業務の処理を行うために利用します。

また、統計処理した上記個人情報を、本学における「入学者選抜方法の検討」、「教育改善のための調査・研究」、「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画）」、「広報活動」及びこれらに付随する業務のための資料として利用します。

なお、処理業務の一部は、本学より機密保持条項を含む契約を締結した業者に委託し、その際、必要な範囲で個人情報の全部又は一部を提供しますので、あらかじめご了承ください。

必ずお読みください

本要項の記載内容は、変更となる場合があります。

最新の情報は、以下のページに掲載する「入学試験要項の変更点一覧」にてお知らせしますので、必ず出願前（入学検定料納付前）及び受験前にご確認ください（右記のQRコードからもアクセスできます）。

<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/g-law/lawschool/examination/admissions.html>



1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、以下のホームページをご確認ください。

（右記のQRコードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/academics/lawschool/>



2. 募集人員

定員 30 名（法学既修者コース 24 名・法学未修者コース 6 名）

各入学試験日程の募集人員は、下表のとおりです。

| コース | 入学試験区分 | 募集人数 | | |
|--------------|---------------------------------|----------|---------|---------|
| | | A 日程 | B 日程 | C 日程 |
| | | 10/25(土) | 12/6(土) | 2/21(土) |
| 法学未修者 コース | 一般選抜 | 2 名 | 2 名 | 2 名 |
| 法学既修者 コース | 一般選抜 (飛び入学及び早期卒業対象者は全日程で受験可) | 7 名 | 6 名 | 6 名 |
| | 特別選抜 (5 年一貫型教育選抜) | 5 名 | — | — |

法学未修者コース：1 年次に入学し、3 年以上在学し必要な単位と成績を修めることで修了
 法学既修者コース：2 年次に入学し、2 年以上在学し必要な単位と成績を修めることで修了

3. 入学試験日程

| 項目 | 備考（注意点） | 日程 | | |
|----------------|------------------------------|-------------|------------|------------|
| | | A 日程 | B 日程 | C 日程 |
| 出願資格事前審査 | 出願資格(2)-(イ)から(エ)及び(ク)で出願される方 | 9/19 (金) | 10/31 (金) | 1/9 (金) |
| | | ～ | ～ | ～ |
| 入学検定料の 納付期間 | | 9/26 (金) | 11/7 (金) | 1/16 (金) |
| | | ～ | ～ | ～ |
| 出願期間 | 郵便限定 締切日必着 | 9/29 (月) | 11/10 (月) | 1/19 (月) |
| | | ～ | ～ | ～ |
| 受験票到着 (目安) | | 10/8 (水) | 11/19 (水) | 1/28 (水) |
| | | 10/21 (火) 頃 | 12/2 (火) 頃 | 2/17 (火) 頃 |
| 試験 | | 10/25(土) | 12/6(土) | 2/21(土) |
| 合格発表 | 郵送及び法科大学院ホームページへ公開 | 11/17(月) | 12/22(月) | 3/12(木) |
| 入学手続締切日 | 締切日消印有効 | 11/27(木) | 1/8(木) | 3/20(金) |

4. 出願資格

4-1. 一般選抜

次の(1)～(3)のいずれかの資格を満たす者

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者又は 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者（早期卒業を含む）
- (2) 学校教育法施行規則第 155 条第 1 号の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次の(ア)から(ク)までのいずれかに該当する者
 - (ア) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - (イ) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (ウ) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内で履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (エ) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - (オ) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
 - (カ) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
 - (キ) 文部科学大臣の指定した者
 - (ク) その他本法科大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達したもの
- (3) 出願時に大学の学部 3 年次に在学し、次の①②の全ての条件を満たす者（飛び入学）
 - ① 2026 年 3 月 31 日までに学部 3 年次を終了する見込みのある者
 - ② 学部 3 年次終了までに、大学入学以来 90 単位以上を修得見込みであること（合格、認定を含む）、かつその修得した全ての単位（合格、認定を除く）の 60%以上の単位数の科目について、最優秀又はそれに準ずる評語（成績評価を 100 点満点に換算した場合 80 点以上）であること。

<注意事項>

- ※ 「法務博士（専門職）」の学位を有する者の出願も認めます。出願にあたっては、過去に受験した司法試験の成績が分かる書類をアドミッションセンターに提出してください（郵送可）。
- ※ 出願資格（1）に該当する者のうち、卒業見込みの者が 2026 年 3 月 31 日までに卒業できなかった場合、又は上記（2）－（ア）に該当する者のうち、授与される見込みの者が 2026 年 3 月 31 日までに授与されなかった場合は、入学許可を取消します。
- ※ 出願資格（2）－（イ）から（エ）で出願しようとする者は、出願資格事前審査の対象となります。出願資格照会期間中に「出願資格事前審査申請書（*参照）」、入学志願票（コピー）、最終学歴の修了（卒業）証明書（コピー）及び成績証明書（コピー）をアドミッションセンターに提出してください（郵送可）。
- ※ 出願資格（2）－（ク）で出願しようとする者は、出願資格事前審査の対象となります。出願資格照会期間中に「出願資格事前審査申請書（*参照）」、入学志願票（コピー）及び学力を証明する書類をアドミッションセンターに提出してください（郵送可）。
- ※ 早期卒業及び飛び入学は、既修者コースで実施します。

- * 「出願資格事前審査申請書」（本学所定用紙）に必要書類を添えて申請してください。本申請書は、以下のホームページよりダウンロードすることができます。
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/qualification/>

4-2. 特別選抜（5年一貫型教育選抜）

本法科大学院と法曹養成連携協定を締結している大学の3年次に在学中であり、法曹コースに在籍している者で、次の（1）（2）の全ての条件を満たす者。

- （1）受験時の年度末までに、法曹コースの修了が見込まれていること
- （2）法曹コースの必修科目であって、3年次前期までに修得すべきものとされている科目の単位を全て修得していること。ただし、4年次に在学する者であっても、正当な理由があると本法科大学院が認める場合には、個別審査のうえ、特別選抜（5年一貫型教育選抜）の対象とすることがあります。

<注意事項>

- ※ 出願時に、本要項記載の出願資格を満たすために大学院入学資格取得見込の証明書を提出した方には、入学手続き時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格しても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学院入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認めません。

5. 出願手続

5-1. 出願期間

出願期間は1ページの入学試験日程を参照してください。

5-2. 出願方法

出願は、全て郵送（締切日必着）に限ります。

なお、出願期間最終日は、アドミッションセンターに16:30までに到着した願書に限り出願を認めます。

<注意事項>

- ※ 郵送は、日本郵便株式会社が行う郵便で送ることに限ります。
- ※ 郵送以外の方法での出願は、認めません。
- ※ 出願は認めない事例は、以下のとおりです。
 - ✓ アドミッションセンター窓口に出願書類を直接提出する。
 - ✓ 信書便（ex.バイク便等を利用した急送サービス）の利用。

出願者は、入学検定料を振込みのうえ、角型2号（24cm×33.2cm）の封筒に「出願封筒貼付用紙」を貼り付けたうえで、出願書類を一括して、「簡易書留・速達」でアドミッションセンター宛に郵送してください。入学検定料支払と出願書類の提出・受理をもって出願が完了となります。

5-3. 入学検定料（銀行振込又はコンビニエンスストアで納入）

入学検定料は1回につき35,000円ですが、同年度中に行われる本法科大学院の入学試験に2回以上出願する場合、2回目以降の入学検定料は1回につき10,000円となります。同日に行われる入学試験でも、法学既修者コースと法学未修者コースの入学試験区分をそれぞれ1回と数えますので、併願を認めている2入学試験区分両方に出願する場合は、2回出願する扱いとなります。

出願パターン入学検定料（下表を参考に振込用紙を選んでください）

| 出願パターン | 入学検定料 |
|-----------------------|---------|
| はじめて出願する方（1入学試験区分のみ） | 35,000円 |
| はじめて出願する方（2入学試験区分） | 45,000円 |
| 2回目以降出願する方（1入学試験区分のみ） | 10,000円 |
| 2回目以降出願する方（2入学試験区分） | 20,000円 |

（1）銀行振込での納入方法

別添の本学所定の振込依頼書を使用し、最寄りの銀行窓口から電信扱いで検定料納付期間内に振り込んでください。現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込みは行わないでください。期間外は取扱いません。なお、ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。

- (2) コンビニエンスストアでの納入方法
別添の「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」を参照してください。

- (3) 外国送金による納入方法

外国送金による入学検定料の振込については、以下のホームページをご確認ください（右記のQRコードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/foreign-remittance/>



6. 出願書類

入学試験区分、コースにより出願書類が異なります。下表を参照してください。
なお、書類は下表の順番どおりにし、クリップ止めして封入すること。

◎必須／○初回受験時には必須／△任意

| No. | 出願書類 | 既修者 コース | | 未修者 コース | 備考 (作成上の注意・部数など) |
|-----|----------------------|------------|----------|------------|--|
| | | 特別 選抜 | 一般 選抜 | | |
| 1 | 入学志願票 | ◎ | ◎ | ◎ | <p>所定用紙 (A4・両面印刷) 必要項目を選択したうえで、出力氏名は自署のこと。 出願する試験日程・コース・区分の全てを選択し、志望する順位も明記してください。 同日の入学試験日程に併願する場合も1部(1枚)の提出で構いません。</p> |
| 2 | 振込金受取書 (C票・大学提出用) | ◎ | ◎ | ◎ | <p>金融機関で検定料を入金する場合 該当する金額の「検定料振込依頼書」をA4サイズに出力(印刷)し、金融機関で入金してください。振込金受取書(C票・大学提出用)を入学志願票の所定位置に貼り付けてください。</p> <p>コンビニエンスストアで検定料を入金する場合 該当する金額の「検定料振込依頼書」をA4サイズに出力(印刷)し、振込金受取書(C票・大学提出用)を入学志願票の所定位置に貼り付けたうえで、コンビニエンスストア入学検定料収納証明書貼付欄に収納証明書を貼り付けてください。 ※収納証明書の詳細については、「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」を確認すること。</p> <p>外国送金で検定料を入金する場合 志願票の「日本国外の銀行から外国送金」に○印を選択して、必ず外国送金依頼書「本人控」のコピーを出願書類に同封してください。なお、「本人控」の原本は、大切に保管してください。</p> |
| 3 | 証明写真1枚 | ◎ | ◎ | ◎ | <p>志望理由書の証明写真とは別に提出必須(1枚) 縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3ヵ月以内に撮影したもののアプリ等で画像(顔等)を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。</p> |
| 4 | 志望理由書 | ◎ | ○ | ○ | <p>所定用紙 (A4・両面印刷) 必要項目を選択・入力したうえで、出力(印刷)してください。自署欄は入力不可です。出力(印刷)後に必ず自署してください。(自署は不要です) また、証明写真を貼り付けてください。</p> |
| 5 | 学業成績証明書 | ◎ | ○ | ○ | <p>出身又は在学の大学長又は学部長が証明したもの。証明書に記載されている氏名が現在の氏名と異なる場合(婚姻等)、同一人物を証明できる公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。 大学院修了者は修了証明書及び成績証明書も併せて提出してください。 原本の提出を原則とします。</p> |
| 6 | 卒業(見込)証明書 | — | ○ | ○ | |
| 7 | 法曹コース修了見込証明書 | ◎ | — | — | |

| No. | 出願書類 | 既修者 コース | | 未修者 コース | 備考 (作成上の注意・部数など) |
|-----|--------------------------|------------|----------|------------|--|
| | | 特別 選抜 | 一般 選抜 | | |
| 8 | 履修証明書 又は 単位修得見込証明書 | — | ※1 | — | <p>※1 飛び入学を希望する場合は、提出必須</p> <p>在学の大学長又は学部長が証明した、当該年度年間の履修状況が分かるもの。 年間の履修状況が証明できない場合は、出願時に提出できる左記証明書のほかに、年間の履修可能単位数が記載されたもの(履修要覧等)を追加して提出してください。</p> |
| 9 | 任意提出書類 | △ | △ | △ | <p>所定用紙(A4・片面印刷) 必要項目を選択したうえで、出力(印刷)してください。任意提出書類は台紙の下に纏めて、左上をクリップ止めしてください。</p> <p>「7-2-1. 法学未修者コース」及び「7-2-2. 法学既修者コース」の例示を参考にしてください。</p> <p>法科大学院修了生は、修了後の全ての司法試験成績通知書を提出してください。書類審査の対象となりますので、必ず提出すること。</p> |
| 10 | 受験票 | △ | △ | △ | <p>2回目以降の出願となる場合、1回目の受験票(写)を添付してください。2回目以降の入学検定料は1入学試験区分10,000円となります。</p> |

※ 複数回受験する場合(「○」の項目が対象)、2回目以降の受験については提出不要です。初回に提出していただいた書類で審査を行います。2回目以降の出願時に改めて提出していただいた場合は、提出の書類を審査対象とします。

※ 出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

※ 提出した書類の訂正や返還には、一切応じません。

※ 出願後のコース及び入学試験区分の変更は、一切認めません。

7. 受験

7-1. 受験票の送付

出願者には、書類を受理し次第、受験票を送付します。試験日の3日前(土・日・祝日を除く)までに受験票が到着しない場合は、必ずアドミッションセンターにお問合せください。

7-2. 選考方法

7-2-1. 法学未修者コース

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、「論理的でバランスのとれた思考能力を有し、それを明確かつ説得的に表現する能力を有している」ことを測るため、法学未修者コースでは、小論文試験、面接試験、書類審査を行います。

- (1) 小論文試験では、法科大学院での履修の前提として要求される資質として、読解力及び記述力を判定します。
- (2) 面接試験では、人物審査に加え、コミュニケーション能力など、法科大学院における履修の前提として要求される資質を判定します。
- (3) 書類審査では、学部成績、活動実績、保持する学位、志望理由、任意提出書類(能力を示す証明書、語学試験や法律学に関するものを除いた各種試験成績など、受験者の能力を客観的に判定可能なもの)を総合的に評価して判定します。
- (4) 合否判定は、書類審査、小論文試験、面接試験を総合的に評価して行いますが、いずれかにおいて極端に低い評価となった場合は、不合格とすることがあります。また、小論文試験や面接試験を欠席した場合は、いずれの場合も不合格となります。

7-2-2. 法学既修者コース

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、「本学1年次において履修する法律基本科目の分野に関わる法的知識を、論理的かつ説得的に表現する能力を有している」ことを測るため、法学既修者コースでは、筆記試験、面接試験、書類審査を行います。

- (1) 法律科目の筆記試験では、法科大学院での履修の前提として要求される資質を判定します。少なくとも、憲法、民法、刑法に関しては、論述式問題を出題することで資質の判定を行います。
- (2) 面接試験では、人物審査に加え、コミュニケーション能力、法律科目にかかる資質など、法科大学院における履修の前提として要求される資質を判定します。
- (3) 書類審査では、学部成績、活動実績、保持する学位、志望理由、能力証明書（語学試験や法律学に関するものを除いた各種試験成績など、受験者の能力を客観的に判定可能なもの）を総合的に評価して判定します。なお、法務博士（専門職）の学位を有する出願者が過去に受験した司法試験の成績が分かる書類を未提出の場合又は提出書類に不足がある場合には、書類審査において減点の対象とします。
- (4) 合否判定は、書類審査、筆記試験、面接試験を総合的に評価して行いますが、いずれかにおいて極端に低い評価となった場合は、不合格とすることがあります。また、筆記試験において1科目でも極端に低い評価となった場合、筆記試験を1科目でも欠席した場合、面接試験を欠席した場合は、いずれの場合も不合格となります。

入学試験問題について

原則として、2025年7月1日現在において施行されている法令に基づいて出題します。なお、試験科目によっては、同日以降に施行された法令に基づいて解答することを許容する場合があります。その場合には、問題文で個別に明示又は試験当日に試験監督者から口頭又は板書にて周知します。

書類審査について

- ※1 大学在学時、企業在籍時、社会における活動・経験で特筆すべき点を踏まえて、将来法曹を目指す理由・本法科大学院への志望理由を記入してください。この書類では、法曹への能力・適性や意欲と表現力をみます。
- ※2 既修者コースの受験者は、志望理由書において、法学に関する学力が特に優れていることをアピールし、その根拠となる資料（任意提出書類）を提出することができます。

何をもって「法学に関する学力が特に優れている」とするか定めはありませんが、標準的な法学部卒業生より優れた学力を有することを表現するよう努めてください。参考として、以下に例を挙げます。

- ・ 法律知識が問われる資格試験（司法書士、弁理士、公認会計士、税理士、行政書士、宅地建物取引士など）に合格した。
- ・ 国家公務員採用総合職試験に「法律」や「行政」の試験区分で合格した。
- ・ 司法試験や司法試験予備試験の短答式試験に合格した。
- ・ 法学既修者試験で、上位の成績を修めた。
- ・ 法学部で、成績優秀者のみが対象となる奨学金を受給していた。
- ・ 法学部の専門科目で、優以上の成績を多く修めた。
- ・ 法学に関する卒業論文で優以上の成績を修めた。
- ・ 成績優秀につき、法学部を早期卒業した。
- ・ 企業の法務部等に勤め、法律実務に関する専門的な知見を有している。 など…

7-2-3. 特別選抜（5年一貫型教育選抜）

本法科大学院と法曹養成連携協定を締結している大学での成績（GPA）、志望理由書その他の提出書類及び面接試験を総合的に評価して合否判定を行います。ただし、憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法の各法分野の成績又は志望理由書のいずれかについて、評価が極端に低いものがある場合には、不合格とします。

7-3. 試験科目及び試験時間割

試験時間割は、下表のとおりです。

なお、試験室及び面接室控室は、受験票にてお知らせします。

| コース | 選抜区分 | 筆記試験 | | | 面接試験 | |
|------------|------|-----------------|------------------|------------------|-------|-------|
| | | 1時限 | 2時限 | 3時限 | 集合時間 | 開始時間 |
| | | 9:30 ~ 10:30 | 13:00 ~ 15:20 | 15:50 ~ 16:40 | | |
| 未修者 コース | 一般選抜 | 小論文 | — | — | 10:50 | 11:00 |
| 既修者 コース | | — | 憲法 民法 刑法 | 民事訴訟法 刑事訴訟法 | 8:50 | 9:00 |
| | 特別選抜 | / | | | | |

※面接試験の順番は試験当日にお知らせします。

(面接時間は、一般選抜/1人10分程度、特別選抜/1名40分程度)

7-4. 受験上の注意事項

- (1) 筆記試験は試験開始 30 分前から入室可能です。必ず試験開始時刻の 15 分前までに会場に入り、自分の受験番号の席についてください。試験開始後は、退室を認めません。
- (2) 試験開始後（面接試験も同様）20 分を超えて遅刻した者の受験は、認めません。
- (3) 受験票は、当日必ず携帯し、試験室では机の上に置いてください。
- (4) 試験時間中に使用できる物品は、以下のとおりです。
黒鉛筆（シャープペンシル可）、ボールペン、万年筆、ラインマーカー（解答用紙への使用は不可）、鉛筆削り（電動式を除く）、消しゴム、時計（アラームや時報機能付の時計は機能を解除すること）、眼鏡、その他本学より貸し出す六法等試験室で配付するもの。
- (5) 試験時間中に使用を認めない物品は、以下のとおりです。
携帯電話や音の出る機器（試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切って鞆にしまうこと。時計代用としての使用は不可。）、通信機能付きの時計（電源を切って鞆にしまうこと。）、計算及び記憶機能付用品、耳栓、スマートフォン、スマートウォッチ。
- (6) 試験内容に係る撮影・録画・録音を禁止します。
- (7) 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。
- (8) 試験当日の緊急連絡先 03-5992-1083（学習院大学アドミッションセンター）

7-5. 併願受験

併願の場合で、複数の入学試験区分に合格した場合は、志願票に記載された志望順位の高い方のコースで入学手続を行っていただきます。

7-6. 受験・入学に際して配慮が必要な方へ

障害や疾病および怪我などにより受験上の配慮が必要とする場合は、出願照会期間の最終日までに必ず本学アドミッションセンターにお問合せください。申請手順の詳細は、以下のホームページよりご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。



<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/consideration/>

8. 合格発表

合格発表日は1ページの入学試験日程を参照してください。
受験者本人宛に郵送（速達）で可否を通知します（発表日に投函）。

欠席者には送付しません。

※ 可否に関するお問合せには、一切応じません。

※ 補助的に学習院大学ホームページ（URLは試験当日にお知らせします）にて発表日の11:00頃より掲載しますが、最終的には郵送による可否通知で確認してください。

※ 補欠者がある場合は、その受験番号を、上記の合格者発表ホームページ及び郵便の中に併せて発表します。合格者の入学手続締切後、上位の者から順に繰り上げて合格とすることがあります。繰上合格通知及びその後の手続の詳細については、上記の郵便に同封する「補欠繰上について」を参照してください。

9. その他

9-1. 入学検定料の返還手続

入学検定料の返還手続については、以下のホームページをご確認ください。
(右記のQRコードからもアクセスできます)。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/refund/>



9-2. 入学手続

入学手続締切日は1ページの入学試験日程を参照してください。

合格者は、入学手続締切日までに入学金及び授業料その他の納付金を納入（銀行等振込）した後、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）で郵送して入学手続を完了してください（締切日消印有効）。

9-3. 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望する場合は、所定の手続がありますので、2026年3月31日（火）16:00までにアドミッションセンター（03-5992-1083）までご連絡ください。

所定の手続が完了しましたら、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

9-4. 納付金・奨学金

納付金及び主な奨学金制度等については、以下のホームページをご確認ください（右記のQRコードからもアクセスできます）。

<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/g-law/lawschool/examination/fees.html>



「学生納付金等減免制度」に関する注意事項

※学生納付金等減免制度を受給した者が、本法科大学院修了または修了見込以外の資格で司法試験を受験された場合、奨学金の返還を求める場合があります。

9-5. 在留資格

在留資格の取得については、以下のホームページをご確認ください（右記のQRコードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/pass/residence/>



【出願時の注意点】

2026年1月以降に実施される試験日に出願をご検討されている方で、以下に該当する方は入学までに在留資格の取得が間に合わない場合がありますので、2025年12月までに実施される試験日（他の入学試験日程や他の入学試験制度）への出願をご検討ください。

- ・海外在住のため、在留資格（短期滞在を除く）の新規取得が必要な方
- ・2026年1月から2026年3月末日までに在留資格（短期滞在を除く）の有効期間が満了となる方

【参考】入学時の必要な在留資格について

入学前に原則として「留学」の在留資格の取得が必要です。

「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格（「定住者」「家族滞在」等）でも入学・在学することはできますが、「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできません。在留資格に関する申請書類の発行及び入学許可証の発行手続については、本学ホームページをご確認ください。

※本学入学に支障のない在留資格（有効期限が2026年4月1日以降のもの）を保有していない場合、本学での修学が不可能となります。在留資格審査は出入国在留管理を所管する行政庁が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、本学は一切の責任を負いません。

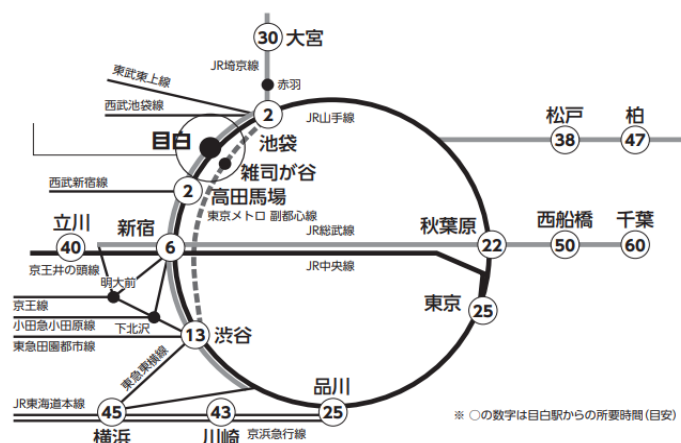
9-6. Q&A (よくある質問)

Q&Aについては、以下のホームページをご確認ください(右記のQRコードからもアクセスできます)。

<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/g-law/lawschool/faq/faq.html>



9-7. 本学への案内図



JR山手線「目白駅」下車徒歩30秒
東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」
下車徒歩10分

本学への案内図については、以下のホームページからもご確認ください(右記のQRコードからもアクセスできます)。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/access/>



本学の構内案内図については、以下のホームページからご確認ください(右記のQRコードからもアクセスできます)。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/about/facilities/>

